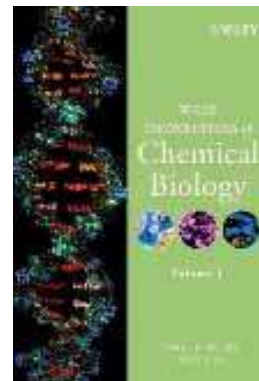


SCIENCE/Chemistry / Organic

Wiley Encyclopedia of Chemical Biology 全4巻

Tadhg P. Begley, Prof. Chemistry and Chemical Biology,
Cornell University, US



本書について:

ケミカルバイオロジーは、化学、生物学、医学を中間点として研究する、化学的教育を受けた研究者のコミュニティーを代表する学際的科学である。ケミカルバイオロジーは、生物学の重要な疑問に対し、化学の原理、ツール、および言語を厳格に適用することに特に重点を置き、生物有機化学、生物無機化学、医薬品化学、生物物理化学、生物化学、生化学の伝統的分野が包含する重要な側面と見ることができます。生物化学は細胞過程を説明することによって分子細胞生物学に不可欠の基盤を提供し、また、生物化学は病気の予防、診断、治療用の新薬剤開発で重要な役割を果たし、創薬の基礎科学となっている。

ケミカルバイオロジーは、創薬と薬剤設計で中心的役割を果たしているため、商業的に極めて重要で、現在年間数千億ドルの規模を持つ製薬市場の科学的原動力となっている。控えめに見ても、この分野に関心を持つ研究者は世界に4万~5万にいたるとの分析もある。

Wiley 百科事典のケミカルバイオロジーは、化学と化学技術の重要な役割を詳しく解説することを目的とする、権威ある新しい百科事典である。この百科事典は、基礎科学、非実証的科学、さらに医学や商業活動そして、より直接的に応用しようという研究分野を網羅した包括的な編集方法を記載している。この百科事典の範囲と構成は、特に生体構造と生体系の基礎科学、その科学を説明するための化学と生物学的技術の利用、こうした知識を基にした創薬、センサー技術および触媒反応など幅広い分野への応用に焦点を当て、生物化学の多次元的特徴を反映するものとなっている。

この百科辞典の主要なエリアは以下のとおりである:

- 生物学の化学的概論
- 細胞内の生体分子
- 生物学的過程と生体系の化学
- 細胞区画の生物化学
- 生物化学ツールとしての合成分子
- 生物化学のテクノロジーと技術
- 生物化学のアプリケーション

	ページ数(約)	ISBN	価格
2009年1月出版	3200	9780471754770	US\$1,200 (2009/6/30迄) 以降US\$1,400

(2009年4月現在価/変動あり)

◆ご注文は洋書店にお願いします

◆資料ご請求、ご質問は—— **ワイリー・ジャパン**

〒112-0002 東京都文京区1-28-1

フロンティア小石川ビル4F